

あそびまつりだよりNo.9

2019.10.8

頌栄幼稚園

玉入れあそび2

前回のお便りで、玉の数が違うのかもという意見がでたので年長組で数えてみました。100個を超えると段々と分からなくなり、何度も何度も数え直して、やっと数が分かりました。結果は赤が136個、白が135個でした。赤を1つ減らして、両チームとも135個に揃えて準備は完了。リハーサルは全学年で玉入れ勝負です。

投げる順番は審判の子どもが決めるので日によって違います。今日は思いもよらないことが起こりました。



1



教師：年少組からスタートするかと思っていましたが……。次かな？

審判：「まん中組さんいくよ～」
「スタート！」

2

審判：「大きい組に交代！！」



教師：年少組ではないの！？玉はまだたくさん残っているけれど、まさか……！

3

審判：「小さい組に交代！！」

教師：やっぱりー！
最後が年少組。玉がたくさん残っているよ。全部入れられるのかな…どきどき！



4

交代のタイミングも審判が決めています。年中組は1分36秒投げました。年長組は56秒。年少組は、なんと7分45秒！！も投げ続けました。

玉が全部入るまで勝負はつきません。年少組も頑張りますが、中々決まらず。すると、年長組のA君が「ねえ、交代しないの？」と審判に聞きました。審判の子たちは、少し考えて「……大きい組に交代！」。最後は年長組の力で勝負がつかしました。白組が勝ちましたが、この日は勝負の結果よりも、どきどきハラハラで、何ともドラマチックな審判の采配に拍手でした。大人が考えるのとは違う、子どもたちだからこそ面白い玉入れでした。当日はどうなるのでしょうか。

7分以上投げ続けた年少組の子どもたち：
「あ～楽しかった！！」
元気いっぱいです。